

「共創力で進む東北プロジェクト」に係る 「情報発信ニーズ」 選定結果（第 1 期）

- 「共創力で進む東北プロジェクト」は、共創イベント（アイデアソン等）の開催を通じて、地域課題の解決に取り組んでいる各種団体の情報発信力の強化や新たなパートナーとのつながりを創出し、地域課題の解決を目指します。
- 自治体、NPO、企業等から情報発信力の強化等を通じて課題解決したいニーズを年間を通じて最大 10 件程度選定し、アイデアソン等を開催して、ニーズに係る解決策の実現に向けて取り組んでいきます。
- 今般、第 1 期として、自治体、NPO、企業等から 10 件の提案があり、2 件の選定をいたしました。今後、追加募集を予定しています（6 月上旬募集予定）。

※「共創力で進む東北プロジェクト」は、平成 29 年度 共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業の通称です。

＜選定内容＞

- 1 「ヒガシ・デ・アエル」～400 年の復興まちづくりと歴史的商家のリノベーションによる文化・観光拠点の創造～
（シネマ・デ・アエル実行委員会（岩手県宮古市））
- 2 シェアリングエコノミーを活用した「共助」によるまちづくり・産業づくり
（気仙沼市（宮城県））

※各事業の名称については、現時点の名称であり、今後変更になる場合もあります。

（参考）

- 共創イベント：第 1 回 7 月中を予定
※第 2 回目以降は、8 月以降順次開催予定。

（添付資料）

- （別紙）共創力で進む東北プロジェクトに係る「情報発信ニーズ」選定結果（第 1 期）
- （参考資料）平成 29 年度共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業の概要



問い合わせ先：
復興庁総合政策班 永井、高田
電話：03-6328-0223

共創力で進む東北プロジェクトに係る
「情報発信ニーズ」 選定結果（第1期）

名称：「ヒガシ・デ・アエル」～400年の復興まちづくりと歴史的商家のリノベーションによる文化・観光拠点の創造～

団体：シネマ・デ・アエル実行委員会（岩手県宮古市）

＜情報発信ニーズ内容＞

岩手県宮古市では、文化面での復興を支えたシンボルであった同県沿岸部唯一の映画館が2016年9月に閉館。シネマ・デ・アエルは、同館が映画上映を通して育んできた文化を引き継ぎ、内外から人々に訪れてもらうための文化交流プログラムを推進する市民有志による活動である。本プロジェクトでは、地域のシンボルである江戸時代から続く歴史的商家のリノベーションを通じて、新たなまちづくりを進めるために、多様な主体の参画を求めている。

名称：シェアリングエコノミーを活用した「共助」によるまちづくり・産業づくり
団体：気仙沼市（宮城県）

＜情報発信ニーズ内容＞

宮城県気仙沼市では、市内の高校生に向けたアンケートを実施。将来的に同市に戻ってきてもらうためには、職種の幅を広げていくことが重要な課題であることを認識。今まで活用されてこなかった個人の資産や能力をICTを活用して市場化する「シェアリングエコノミー」を、市民の生活基盤として取り入れることを目指している。本プロジェクトでは、同市の課題や取組の方向性を内外に発信することで、市外のパートナーと共に「シェアリングシティ」実現のための施策（例：モビリティ、子育て）を考え、実行したい。

以上

平成 29 年度共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業について

1 概要

「新しい東北」の様々な取組の成果の普及・展開の加速化や、取組の自走化に向けて、地域の取組主体にとって、新たなネットワーク構築や連携先・パートナーづくりのための情報発信力の強化に関するソリューション（課題の解決策）を「オープンイノベーション」手法により、様々な者からアイデアや解決手法の提案を活用して構築するもの。また、本事業の運営や参加者等の動向について、コンテンツ化し、積極的に全国に向けて情報発信を行う。

2 事業の流れ

- 1) 東北の復興に関わる情報発信ニーズを最大 10 件程度募集。
- 2) 上記より選定された課題をもとに、共創イベントを 7 月以降全国 10 か所で開催（東北被災 3 県の他に、東京、岐阜、大阪、広島、熊本、台湾等を予定。）。
- 3) 共創イベントで生み出した課題解決のソリューションの具体化に対し、最大 300 万円をサポート。
- 4) 共創イベントと並行し、「週次の交流の場（FW:東北 Weekly）」として、復興庁（中央合同庁舎第 4 号館）等で開催。
- 5) 一連の活動をメディアへ、SNS 等で情報発信。
- 6) 年間の成果発表イベントを平成 30 年 3 月東京で開催。

※ 開催スケジュールや開催地エリアについては、変更になる場合もあります。

以上